

ABC★ジャンプ!

高岡市立横田小学校
第4学年だより12月号
令和5年11月28日

魚津水族館の不破光大学芸員さんに会いに行ったよ

「ビオトープにいる小さな魚は、何なんだろう。」「何種類のカエルがいるんだろう。」「水辺に浮かんでいる葉っぱの名前は、何だろう。」子供たちの疑問を瞬時に解決してくださった魚津水族館の不破学芸員さん。子供たちは、9月にお会したときから、「不破さんのような生き物名人になりたいな。」と、不破さんの魅力に引き付けられました。子供たちは、一緒に横田小学校のビオトープで生き物を採集し、生き物についてお聞きしたことをきっかけに学習専用端末で調べたり、継続して観察したりしてきました。カエルの違いに興味をもった子供たちは、鳴き声の違いや大きさや色等、一人一人が気になることを調べてきました。トンボに関心をもった子供は、交尾の瞬間を見つけて歓声をあげていました。知識として分かっていたことでも体験を通すことで初めて自分の学びになったようです。

秋の深まりとともに、生き物の数が減ってきたことに気付いた子供たちは、温度計でビオトープの水温を調べたり、足を入れて9月の水温と体感を通して比たりしていました。「トノサマガエルやツチガエルは、どこにいったの?」「オタマジャクシは、冬どうなるの?」「ドジョウは、死ぬのかな?」と生き物を友達のように感じ、次々に疑問をもちました。そこで、今回は不破さんに会いに水族館へ行ってきました。

水族館では、水槽の水をろ過する大きなタンク（地下）やペンギンや魚の餌が保管されている冷凍庫（1階）や調理場（3階）等、日頃見ることができないバックヤードの様子まで見せてもらいました。

不破さんからお聞きしたことを確かめるために、「もう一度ビオトープに入りたい。」「来場者に分かりやすく掲示してある展示板をこれからの発表に生かしたい。」と、新しい課題と活動意欲をもって帰ってきました。



<水槽の上(3階)>



<来館者として見る水族館(2階)>



<水槽の下(地下)>



書初めの練習について

書き初めの練習が始まります。以下の物の準備をお願いします。

【持ち物】

- 1 筆（書初用のだるま筆・小筆）
- 2 墨池
- 3 墨汁
- 4 ぶんちん
- 5 書初用下敷き
- 6 ビニル袋（筆や紙を持ち帰るため）
- 7 書初用敷物（ビニルシート等）
- 8 作品置き（右図参照）

☆手本と練習用紙は、学校で用意します。

【作品置きの作り方】

- ・新聞紙をつないで、横30cm、縦120cmの大きさのものを、5枚作ってください。

